

被爆81周年原水爆禁止世界大会・広島大会 「安野発電所への中国人強制連行・被爆の歴史を歩く」

川原 洋子

原水爆禁止世界大会・広島大会のプログラムとして、8月5日に10回目となる「安野発電所への中国人強制連行・被爆の歴史を歩く」フィールドワークを行ないました。

参加者は14人で、石川1人、福井1人、千葉1人、東京2人、神奈川2人、長野1人、京都1人、大阪3人、大分1人、大学生1人と、全国各地から参加していただきました。年代も幅広く20代から60代までの方々でした。去年は大久野島のフィールドワークに参加したので今年は安野にした、という方も何人かおられました。

被爆という被害の歴史だけでなく加害の歴史を広島で学ぶ機会として、このフィールドワークが一定の役割を果たしていることを再認識しています。

マイクロバスで朝8時に平和公園を出発して夕方4時半に戻ってくる、まる一日かけて行なうフィールドワークです。暑い最中ですから、熱中症に気をつけながら活動しました。全員元気に平和公園に戻ってこられて何よりでした。

一日を写真で追ってみます。



安野 中国人受難之碑



坪野貯水槽



香草中国人収容所跡



善福寺



土居取水口